



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和6年7月25日(木) 岐阜県発表資料		
担当課	担当者	電話番号
国際交流課	国際交流係長 藤田直也	内線 3974 直通 058-272-1874 FAX 058-278-2603

訪問6日目(7月24日 ドイツ)

バートキッシンゲン市長及び関係者と面談し、 クアオルトの取組みに関する意見交換をしました

「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」～ウズベキスタン・ドイツにおける友好交流の深化～

県では、岐阜ブランドの魅力を世界へ発信する「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」を展開しています。

7月24日(水)、ユネスコ世界文化遺産(ヨーロッパの大温泉保養都市群)の一つであり、高濃度の天然炭酸泉や治療用飲用炭酸泉で有名なバートキッシンゲン市を訪問し、フォーゲル市長及び関係者と面談しました。知事と下呂市長から岐阜県及び下呂市の取組みを説明した後、フォーゲル市長から、毎年多くのリハビリ患者や観光客が訪れる同市のクアオルト(※)について説明を受け、意見交換を行いました。

続けて、知事は、バートキッシンゲン市のメッセージブック「金の本」に記帳した後、緑あふれる庭園に囲まれた美しい意匠の歴史的建造物で、コンサートホール等のあるクアハウスを視察し、飲水施設で塩分や鉄分の濃度が異なる鉱泉水を飲み、鉱泉水がもたらす効能等について説明を受けました。

また、多くのうつ病患者が訪れるDRVルーン病院を訪問し、ヘルマン病院長からクアオルトに所在する病院の役割やうつ病の治療方法等について説明を受け、意見交換を行いました。

なお、当初予定していたフランス訪問は中止し、7月26日(金)に帰国する予定です。

※クアオルトとは

ドイツには、保養地に滞在して地域特性を生かした自然療法と文化・アート体験など各種アクティビティを組み合わせ、生活改善に専念する「クア(転地療養)」という医療制度がある。クアには治療費のほか、滞在費にも健康保険が適応され、そのための各種条件を備えた保養地のみが「クアオルト」として認定されている。

【7月24日概要】

(1) パートキッシンゲン市長及び関係者との面談

(2) パートキッシンゲン市内（クアオルト）の視察

(1) パートキッシンゲン市長及び関係者との面談

○日 時：7月24日（水） 10：45～12：00（現地時間（以下同じ））

○場 所：パートキッシンゲン市庁舎

○出席者

<相手方>

ディルク・フォーゲル パートキッシンゲン上級市長

トーマス・ライナー パートキッシンゲン第三市長

シルヴィー・トルマン バイエルン州立スパ パートキッシンゲン有限会社
スパ・マネージングディレクター

クラウス・ヘルマン DRVルーン病院長

マティアス・ハイド グランドホテル・カイザーホフ・ヴィクトリア支配人 ほか

<岐阜県関係者>

[県] 知事、健康福祉部長

[県議会] 水野正敏^{みずのまさとし} 議長、佐藤武彦^{さとうたけひこ} 議員、森正弘^{もりまさひろ} 議員

[市町村] 藤井浩人^{ふじいひろと} 美濃加茂市長、山内登^{やまうちのぼる} 下呂市長

[民間] 呉本勝男^{くれもとかつお} 可児市観光協会会長、瀧康洋^{たみやすひろ} 下呂温泉観光協会会長

○主なやり取り

フォーゲル市長からの歓迎の意に対し、知事は「ドイツで最も美しいといわれ、ユネスコ世界文化遺産にも登録されているクアオルトがいかによろしいか学びたい」と応じました。また、市長から「お互い共通点も相違点もあると感じるが、ドイツのクアオルトの特徴をどのように岐阜県に取り入れていくかを考えることが必要」との発言がありました。

(2) パートキッシンゲン市内（クアオルト）の視察

○日 時：7月24日（水） ① 12：00～13：15

② 15：00～15：40

○場 所：① クアハウス、② DRVルーン病院

○出席者

<相手方> ※②のみ

クラウス・ヘルマン DRVルーン病院長 ほか

<岐阜県関係者>

※（1）と同じ

○主なやり取り

ヘルマン病院長から説明を受けた後に行った意見交換では、患者のクアパークでの活動に対する医師の関与の仕方や、うつ病の治療方法に関する日本とドイツの違い等について活発な質疑応答が行われました。

【参考】（※当初の予定）

飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト～ウズベキスタン・ドイツ・フランスにおける友好交流の深化～

県では、岐阜ブランドの魅力を世界へ発信する「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」を展開しています。その一環として、知事が、ウズベキスタン、ドイツ、フランスを下記の日程で訪問します。

まず、日本の都道府県知事として初めてウズベキスタンを訪問し、岐阜県とサマルカンド州、岐阜大学とサマルカンド国立医科大学の2層での交流に向け基本合意書等を取り交わすとともに、アブドゥラ・アリーポフ首相はじめ政府関係者と今後の本県とウズベキスタンとの交流の方向性について意見交換を行います。

ドイツでは、「健康」や「癒し」をテーマとした地域づくりや、温泉等の地域資源を活用した観光誘客施策への参考にするため、ドイツ有数の健康保養地クアオルトを訪問するとともに、木曽川中流域の魅力向上や新たなブランド創出に向け、ライン川を活用した観光振興の取り組みについて調査します。

フランスでは、女子ホッケーやカヌーの選手など岐阜県ゆかりのオリンピック出場選手の激励を行うとともに、川を活用したイベントの先進事例として、パリオリンピック開会式を視察します。

記

1 日 程

2024（令和6）年7月19日（金）～7月28日（日） 9泊10日

2 主な渡航目的と内容

<ウズベキスタン>

- ・サマルカンド州政府知事との面談・懇談
- ・サマルカンド国立医科大学訪問
- ・アブドゥラ・アリーポフ首相はじめ政府関係者との面談
- ・駐ウズベキスタン大使との懇談 ほか

<ドイツ>

- ・クアオルト視察・調査（バートキッシンゲン、バートナウハイム他）
- ・ライン川観光関係者との面談

<フランス>

- ・岐阜県ゆかりの日本代表選手の激励
- ・視察（パリ・オリンピック開会式）
- ・駐フランス大使との面談 ほか

3 主な参加予定者

県 議 会	水野正敏 議長、佐藤武彦 議員、森正弘 議員（ウズベキスタン、ドイツ）
市町村長	藤井浩人 美濃加茂市長（ドイツ）、山内登 下呂市長（ドイツ）
民 間 等	吉田和弘 岐阜大学学長（ウズベキスタン）、呉本勝男 可児市観光協会会長（ドイツ）、瀧康洋 下呂温泉観光協会会長（ドイツ）

7月24日分の写真

バートキッシンゲン市長及び関係者との面談

・意見交換の様子



・「金の本」への署名



バートキッシンゲン市内（クアオルト）の視察

・クアハウス



・DRVルーン病院

